

湖南高校だより

福島県立湖南高等学校

発行責任者 校長 吉田 浩美

文化祭を終えて

旧生徒会書記

三年 渡部 紗笑

皆さん、三年に一度の文化祭お疲れ様でした。皆さんにとってはどんな文化祭だったでしょうか。私は、それぞれの個性が光り、各クラス、部活動、委員会など様々な花が咲き乱れた文化祭だったと思います。まさに百花繚乱でした。生徒会もそうでしたが、準備段階でうまくいかないことも多々ありました。しかし、今となつては、それもとて大切な思い出です。今回の経験を胸に、これからも頑張っていくまじよい。

〈旧生徒会役員〉			
会長	石田 奈保子	(3年・湖南中出身)	
副会長	二瓶 真耶	(3年・湖南中出身)	
書記	渡部 紗笑	(3年・吾妻中出身)	
会計	久下 大士	(3年・湖南中出身)	

新生徒会役員について

過日、平成二十八年度生徒会役員選挙が実施され、平成二十八年度後期及び平成二十九年度前期の新生徒会役員が選出されました。今年度は三年に一度の文化祭の年に当たり、先日の文化祭終了までは旧役員が中心となつて文化祭の運営に当たりましたが、文化祭も無事、成功裏に終わりました。今後は、新役員中心の運営となります。

早速、生徒会サミットへの参加や猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラムの発表などがあります。



認証式後の新生徒会役員の皆さん

〈新生徒会役員〉			
会長	松本 江里加	(2年・湊中出身)	
副会長	松本 太成	(2年・湊中出身)	
書記	栗原 萌	(1年・湖南中出身)	
	佐藤 李音	(2年・郡山中出身)	
	三川 啓英	(1年・大槻中出身)	
会計	下島 真聖	(2年・湖南中出身)	
	鈴木 見空	(1年・湖南中出身)	

来年度九月までの任期となりますが、湖南高校のためによりしくお願ひします。

また、旧役員の皆さん、大変お疲れ様でした。教職員・生徒一同感謝します。

新生徒会長より

新生徒会長

二年 松本 江里加

新生徒会長となりました松本です。新生徒会役員六名とともに、湖南高校のために明るく元気に精一杯頑張らせていただきます。

学校スローガン

「可能性の発見、自分に挑戦、夢を形に」

れから一年間よろしくお願ひします。

リレートーク

↓染谷↓木村↓中野↓箭内
↓伊藤↓田原↓栗生↓熊谷↓渡邊大↓黒須↓?



あなたは学校・先生は好きですか？

私は、学校は好きなのに、先生が好きではなかったように思います。

小学校に入学して「担任の先生」を嫌いになりました。

ある事件があり、無実の罪でクラスメイトの前に立たされ、怒られました。

あの悔しさは今でも忘れることができません。そして、そのストレスを祖父の庭に綺麗に咲いていた芙蓉の花にぶつけてしまい、それ以降、芙蓉は咲くことを忘れてしまいました。春になり、咲き誇る花を見ると、楽しい思い出よりもその悔しい記憶と綺麗な芙蓉の花を思

い出してしまいます。

しかし、いい思い出もありません。今考えるとその担任以外の先生方にはとてもお世話になりました。近所に同級生のいなかった私の家まで、男子数名と一緒に帰ってくれたり、家庭訪問の時、両親が仕事で居ない上でも一緒に連れて来て、私の家の庭でみんなと遊んだりしたこともありました。

中学時は部活動に熱中していましたが、高校ではなかなか入部することができず、何となく華道部に入り、資格取得の一步前で卒業してしまいました。これは微妙な思い出です。

以前、小学校高学年の時に担任をしていただいた先生の奥様と一緒に働く機会に恵まれたことがありました。とても懐かしく、是非、お会いして、昔話でも思っています。都合が合わず、お会いすることができず、お会いする時が経ち、私がその職場を離れることになった際、職場の同僚である奥様からお手紙を預かりました。その手紙は奥様の夫である担任の先生から

のお手紙でした。中には、楽しかったこと、友達のこと、私の性格のことなどが書かれており、小学校卒業から十数年経過しているのに、こんなに私のことを覚えていてくれていたのかと感動しました。手紙の最後は、私の性格を踏まえた上でどのような先生になつてほしいかというメッセージで締めくくられていました。あれから数年。その手紙の所在は定かではありませんが、手紙の内容は今でも心にメモしてあります。

今は何も感じないかもしれませんが、時間も経てば、様々な出来事が忘れられない思い出となります。数年後、「担任の先生」からの嬉しい手紙・言葉をもらえるように、嫌なことがあつても前向きに、懸命に生活してみたいかがでしようか。(黒須由華・くろすゆか・家庭・一年A組副担任)

《克己心》

文化祭特集、四号連続発行でした。楽しんでいただけでしたか。